

世界貿易投資動向シリーズ

# イタリア

2021年11月17日  
海外調査部・ミラノ事務所

2020年のイタリアの輸出は、新型コロナウイルス感染拡大による生産活動の一時停止により前年比9.7%減となった。食品・飲料・たばこや医薬品はプラスとなったものの、その他多くの品目で縮小した。輸入も医薬品を除いて大方の品目で減少し、全体で12.8%減となった。直接投資は、対外・対内とも前年から大幅に縮小したが、再生可能エネルギーのプラント関連を含むエネルギー分野で対外投資が活発だった。日本との関係では輸出入とも減少、貿易収支は9年連続の黒字となった。

## ■多くの品目で前年比輸出減も、食料品、医薬品は堅調

2020年の貿易は、輸出が前年比9.7%減の4,335億5,900万ユーロ、輸入が12.8%減の3,699億6,900万ユーロだった。貿易収支は前年から74億7,400万ユーロ増の635億9,000万ユーロの黒字となり、赤字から黒字に転換した2012年以降、最大の黒字額を記録した。

輸出を品目別にみると、前年より減少した品目が多くみられた。一方、新型コロナ感染拡大によるロックダウン下でも生産活動停止の対象とならなかった食品・飲料・たばこ（構成比9.0%）は1.9%増となった。同品目の中で最大の額を占めるテーブルワイン・指定地域上質ワイン（1.0%）は、1.2%減とやや減少した。しかし、次いで金額の大きい加工／保存用果物・野菜（0.8%）は7.1%増の34億5,600万ユーロ、食用パスタ・クスクス・類似の小麦粉製品（0.6%）は18.3%増の23億8,600万ユーロだった。また、医薬品（7.8%）も3.8%増となった。

輸出を国・地域別にみると、EU全体（51.1%）向けは9.7%減、うちユーロ圏（41.2%）は9.1%減となった。最大の輸出相手国のドイツ（12.8%）は、4.8%減となった。同国への輸出額が最も大きい金属製品が11.1%減、次に大きい機械が10.5%減などと落ち込んだ影響を受けた。欧州の主要相手国向けの輸出が軒並み減少する中、ベルギー（3.4%）は4.3%増となった。同国向け輸出額全体の約4割を占める医薬品が16.7%増と伸び、全体を牽引した。

EU域外では、英国（5.2%）が11.1%減と縮小した。加工

表1 イタリアの品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械	82,719	72,320	16.7	△ 12.6	31,424	27,862	7.5	△ 11.3
金属製品	51,483	48,690	11.2	△ 5.4	44,325	41,788	11.3	△ 5.7
繊維・衣料品・皮革製品	57,347	46,141	10.6	△ 19.5	32,603	29,983	8.1	△ 8.0
輸送機器	50,569	44,674	10.3	△ 11.7	50,763	38,267	10.3	△ 24.6
食品・飲料・たばこ	38,399	39,143	9.0	1.9	30,602	28,574	7.7	△ 6.6
医薬品	32,690	33,927	7.8	3.8	28,956	29,570	8.0	2.1
化学品	30,905	29,352	6.8	△ 5.0	38,244	36,256	9.8	△ 5.2
ゴム・プラスチック・非金属鉱物製品	27,479	25,391	5.9	△ 7.6	15,250	13,825	3.7	△ 9.3
その他製造業の製品	27,689	22,847	5.3	△ 17.5	14,849	12,182	3.3	△ 18.0
電気機器	23,899	21,745	5.0	△ 9.0	18,172	17,351	4.7	△ 4.5
コンピューター・電子・光学機器	15,700	15,138	3.5	△ 3.6	28,343	27,483	7.4	△ 3.0
木材・木工品・紙製品・印刷物	9,012	7,956	1.8	△ 11.7	10,811	9,063	2.4	△ 16.2
燃料・石油精製品	13,405	7,774	1.8	△ 42.0	8,913	5,644	1.5	△ 36.7
農林水産物	6,934	6,982	1.6	0.7	14,768	14,472	3.9	△ 2.0
鉱物・石油・天然ガス	962	940	0.2	△ 2.2	43,351	25,550	6.9	△ 41.1
合計 (その他を含む)	480,352	433,559	100.0	△ 9.7	424,236	369,969	100.0	△ 12.8

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。  
[出所] イタリア国家統計局 (ISTAT)

／保存用果物・野菜が10.2%増と伸長し、食品・飲料・たばこは3.3%増と底堅さをみせた。一方、自動車の22.1%減が響き、輸送機器は23.6%減となった。スイス(5.8%)は2.9%減だった。輸出額の大きいその他旅行用品が34.7%減と大きく落ち込み、同国向け輸出額全体の4分の1を占める繊維・衣料品・皮革製品が20.8%減と縮小した。一方、金属製品は、貴金属の世界的な価格高騰の下、貴金属・半加工金属が63.3%増と大きく伸び、品目全体で38.4%増となった。

米国(9.8%)は6.7%減と縮小した。同国への輸出額が大きい品目順にみると、輸送機器が4.4%減(うち自動車は3.5%減)となったほか、機械も9.4%減と減少した。一方、医薬品は米国が最大の輸出先で、1.0%増とプラスを維持。また、食品・飲料・たばこも5.8%増と堅調な伸びをみせた。

アジア大洋州向け(10.4%)も10.0%減となった。ただし、この地域で最大の輸出先である中国(3.0%)は、0.6%減と小幅な減少にとどまった。同国向け輸出の中で構成比の大きい機械は1.8%減、繊維・衣料品・皮革製品も6.6%減となった。他方、工業用雑化学製品は75.8%増と大きく伸び、化学製品全体で22.5%増と下支えした。アジア主要国向けも全体として減少が目立つ中、台湾(0.3%)は0.7%増と前年をわずかに上回った。台湾向け輸出の1割強を占めるコンピューター・電子・光学機器は39.7%増と大きな伸びをみせ、中でも電気・ガス・水用メーターなどの精密計測機器類が39.9%増、電子部品も63.7%増と急増した。

## ■輸入は2桁減、輸送機器も大きく減少

2020年の輸入額は3,699億6,900万ユーロで前年比12.8%減と、輸出同様マイナスになった。品目別では、最大の金属製品(構成比11.3%)が前年比5.7%減、輸送機器(10.3%)は24.6%減と大きく落ち込んだ(表1参照)。一方、医薬品(8.0%)は2.1%増だった。

表2 イタリアの主要国・地域別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	245,447	221,663	51.1	△ 9.7	241,671	215,243	58.2	△ 10.9
ユーロ圏	196,416	178,492	41.2	△ 9.1	199,805	178,309	48.2	△ 10.8
ドイツ	58,516	55,685	12.8	△ 4.8	68,580	60,317	16.3	△ 12.0
フランス	50,561	44,660	10.3	△ 11.7	34,827	31,316	8.5	△ 10.1
スペイン	24,520	20,429	4.7	△ 16.7	22,997	19,596	5.3	△ 14.8
ベルギー	14,257	14,874	3.4	4.3	19,786	18,162	4.9	△ 8.2
オランダ	12,000	11,256	2.6	△ 6.2	22,247	21,926	5.9	△ 1.4
非ユーロ圏	47,276	42,505	9.8	△ 10.1	41,453	36,813	10.0	△ 11.2
ポーランド	13,544	12,985	3.0	△ 4.1	10,644	9,275	2.5	△ 12.9
ルーマニア	7,838	6,838	1.6	△ 12.8	7,164	6,325	1.7	△ 11.7
チェコ	6,570	5,777	1.3	△ 12.1	6,998	6,379	1.7	△ 8.8
スウェーデン	5,039	4,711	1.1	△ 6.5	4,454	3,953	1.1	△ 11.2
ハンガリー	4,938	4,406	1.0	△ 10.8	5,269	5,017	1.4	△ 4.8
英国	25,233	22,420	5.2	△ 11.1	10,388	8,417	2.3	△ 19.0
スイス	25,990	25,231	5.8	△ 2.9	10,933	9,519	2.6	△ 12.9
トルコ	8,346	7,727	1.8	△ 7.4	9,457	7,456	2.0	△ 21.2
ロシア	7,882	7,101	1.6	△ 9.9	14,324	9,329	2.5	△ 34.9
アジア大洋州	49,923	44,940	10.4	△ 10.0	56,780	54,028	14.6	△ 4.8
中国	12,969	12,887	3.0	△ 0.6	31,663	32,144	8.7	1.5
ASEAN	8,621	7,236	1.7	△ 16.1	9,089	8,426	2.3	△ 7.3
日本	7,711	7,125	1.6	△ 7.6	4,113	3,645	1.0	△ 11.4
韓国	4,860	4,685	1.1	△ 3.6	3,730	3,135	0.8	△ 15.9
香港	5,751	4,278	1.0	△ 25.6	333	304	0.1	△ 8.6
オーストラリア	4,003	3,691	0.9	△ 7.8	508	340	0.1	△ 33.0
インド	3,992	3,036	0.7	△ 23.9	5,154	4,236	1.1	△ 17.8
台湾	1,446	1,456	0.3	0.7	1,989	1,622	0.4	△ 18.5
ニュージーランド	570	545	0.1	△ 4.4	201	175	0.0	△ 13.3
北米	53,896	49,861	11.5	△ 7.5	19,837	17,513	4.7	△ 11.7
米国	45,536	42,468	9.8	△ 6.7	17,007	14,785	4.0	△ 13.1
カナダ	4,495	4,273	1.0	△ 4.9	1,748	1,758	0.5	0.6
中東	17,538	15,210	3.5	△ 13.3	17,140	15,184	4.1	△ 11.4
アラブ首長国連邦	4,605	3,867	0.9	△ 16.0	907	4,550	1.2	401.6
サウジアラビア	3,276	3,217	0.7	△ 1.8	3,804	2,959	0.8	△ 22.2
アフリカ	17,302	15,006	3.5	△ 13.3	21,445	14,607	3.9	△ 31.9
エジプト	2,418	3,080	0.7	27.4	1,928	1,605	0.4	△ 16.8
チュニジア	3,128	2,384	0.5	△ 23.8	2,444	2,088	0.6	△ 14.6
中南米	13,923	11,832	2.7	△ 15.0	9,560	8,577	2.3	△ 10.3
合計(その他を含む)	480,352	433,559	100.0	△ 9.7	424,236	369,969	100.0	△ 12.8

(注) ①アジア大洋州はASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港および台湾を加えた合計値。北米は、米国、カナダ、メキシコの3カ国の合計値。

②ユーロ圏と非ユーロ圏の合計がEUと合致しないのは統計上での国にも分類できない誤差混入が含まれていないため。

③EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

(出所) イタリア国家統計局(ISTAT)

国・地域別にみると、EU全体（58.2%）は10.9%減となった（表2参照）。輸入相手国として最大のドイツ（16.3%）は、輸入額最大の輸送機器が27.6%減（うち自動車が34.6%減）と響き、12.0%減と落ち込んだ。一方、オランダ（5.9%）は1.4%減と、微減にとどまった。輸入額が最大のコンピューター・電子・光学機器が10.6%増と伸長し、医薬品も9.7%増と伸びた。

EU域外では、英国（2.3%）からの輸入が19.0%減。輸入額が最大の輸送機器は45.0%減、中でも自動車が53.7%減と半減した。米国（4.0%）は13.1%減と、米国からの輸入も振るわなかった。輸入額全体の約2割を占める医薬品が23.3%減と大きく減少したほか、航空機・宇宙船および関連装置が27.6%減、自動車は20.2%減となった。

全体として前年比マイナスとなる国が目立つ中、中国（8.7%）は1.5%増と拡大した。繊維素材が約19倍に急増し、繊維・衣料品・皮革製品が27.9%増と大きく伸長した。

アラブ首長国連邦（1.2%）からの輸入は5倍と極めて大きく拡大した。前年に輸入の約半分を占めた燃料・石油精製品は99.98%減となり大きく落ち込んだものの、貴金属・半加工金属が701倍で、金属製品全体で17倍と、輸入全体を押し上げた。

輸出額を月別にみると、国内での生産活動が一部停止となった2020年3月から前年同月比で減少し始め、4月を底に大きく落ち込んだ。しかし、秋ごろから徐々に回復してきている。2021年1～4月の輸出額は前年同期比19.8%増、輸入額は16.5%増（いずれも季節調整前）。特に2021年4月は、前年同月の大幅な落ち込みの反動で、輸出額が前年同月比97.6%増、輸入額は62.8%増となった。

## ■対内直接投資は大幅に縮小

イタリア銀行によると、2020年の対内直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）は、前年の278億1,600万ユーロから、50億9,000万ユーロの引き揚げ超過に転じた。主要投資元であるEUのうち、ルクセンブルクとオランダのそれぞれ58億1,000万ユーロ、44億2,100万ユーロの引き揚げ超過が響いた。他方、ドイツは16億1,300万ユーロ、フランスは15億5,900万ユーロを記録した。

2020年の主な対内投資案件をみると、フランス自動車メーカーのトリガノは8月、需要の拡大に対応するため、南部アブルッツォ州パリエータの既存工場近くに1万平

表3 イタリアの国・地域別対内・対外直接投資〈国際収支ベース、ネット、フロー〉

(単位：100万ユーロ、%)

	対内投資			対外投資		
	2019年	2020年		2019年	2020年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
EU	27,771	△ 4,865	-	9,951	△ 3,038	-
ドイツ	5,195	1,613	△ 69.0	24	1,059	4,404.7
フランス	1,304	1,559	19.6	1,722	△ 1,342	-
スペイン	912	758	△ 17.0	2,420	△ 900	-
スロバキア	△ 153	466	-	△ 206	43	-
オーストリア	116	330	183.3	785	1,062	35.3
ベルギー	△ 1,271	△ 51	△ 96.0	1,987	679	△ 65.8
アイルランド	△ 1,079	△ 311	-	977	△ 351	-
オランダ	12,735	△ 4,421	-	△ 192	△ 6,429	-
ルクセンブルク	7,711	△ 5,810	-	99	2,052	1,975.8
英国	△ 3,380	△ 1,785	-	1,045	1,199	14.7
スイス	2,558	551	△ 78.5	1,856	194	△ 89.5
ロシア	△ 345	34	-	1,512	824	△ 45.5
アフリカ	117	128	8.9	1,426	△ 1,091	-
エチオピア	3	93	3,378.9	20	△ 18	-
アルジェリア	34	37	9.1	714	△ 879	-
北米	△ 512	167	-	2,872	695	△ 75.8
米国	△ 497	183	-	1,634	480	△ 70.6
南米	△ 56	467	-	3,690	3,113	△ 15.6
ブラジル	△ 30	200	-	535	1,296	142.4
アルゼンチン	37	116	209.5	△ 39	1,103	-
アジア大洋州	1,369	△ 293	-	1,440	1,494	3.7
日本	497	85	△ 83.0	467	82	△ 82.3
中国	657	84	△ 87.2	672	983	46.3
オーストラリア	139	62	△ 55.1	8	230	2,756.1
シンガポール	64	39	△ 39.7	7	88	1,096.3
中東	127	259	103.6	2,047	26	△ 98.7
クウェート	106	122	15.3	195	△ 56	-
トルコ	222	116	△ 47.5	100	407	306.0
合計（その他含む）	27,816	△ 5,090	-	29,282	4,316	△ 85.3

〔出所〕 イタリア銀行

方メートルのキャンピングバン工場を新設し、生産を開始した。年間生産能力は4,400台を見込む。外部との接触を制限した安全な移動を可能にするキャンピングバンは新型コロナ禍での市場動向に完全にマッチすると同社は分析している。また、アイルランドの格安航空会社ライアンエアーが12月、地域経済の回復と国内・国際線の接続性をさらに高めるため、ベネト州トレビーズ空港にイタリアで15番目となる拠点の新設を発表した。同拠点が稼働した2021年6月には、2億ドルを投じて航空機2

表4 イタリアの主な対内直接投資案件(2020年~2021年6月)

<M&A 以外>					
業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
航空	ライアンエアー	アイルランド	2021年6月	2億ドル	北部ベネト州トレビーズ空港の新拠点の稼働を開始した旨、また航空機2機を導入して22の新規路線を運航すると発表。
自動車	トリガノ	フランス	2020年9月	非公表	南部アブルツォ州パリエータにキャンピングバンの新工場を開設し、8月末から生産を開始したと発表。
ライフサイエンス	サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	米国	2020年12月	非公表	中部ラツィオ州のフェレンティノ、および北部ロンバルディア州モンツァに、無菌医薬品の開発および医薬品やワクチンの商業生産のための新拠点を2年後に完成予定と発表。
通信	エクイニクス/ボーダフォン	米国/英国	2021年2月	非公表	エクイニクスは、北部リグーリア州ジェノバに海底ケーブルハブ「GN1」を設置する計画を発表。ボーダフォンはGN1を、アメリカと欧州16か国と中東をつなぐ海底通信ケーブルプロジェクト「2 Africa」の接続ポイントとして使用予定。

<M&A>						
業種	被買収企業(事業) 企業名	買収企業 企業名	国籍	時期	投資額	概要
金融	ボルサ・イタリアーナ	ユーロネクスト	オランダ	2021年4月	44億4,400万ユーロ	証券取引所の運営を担うユーロネクストは、イタリアの証券取引所を運営するボルサ・イタリアーナのロンドン証券取引所グループからの買収を完了した。
通信	テレコム・イタリア	KKR	米国	2021年4月	18億ユーロ	投資会社KKRは、イタリアの通信大手テレコムイタリアより、ファイバークラウド(テレコムイタリアの通信網のうち、顧客への接続部分を担う)の株式37.5%の取得を完了した。
通信	インフラストゥルツウレ・ワイアレス・イタリアーネ(INWIT)	アーディアン率いる機関投資家コンソーシアム	フランス	2020年10月	13億5,000万ユーロ	投資会社アーディアン率いる投資家グループは、イタリアの通信大手テレコムイタリアから、INWITの株式30.2%の取得を完了した。
情報通信技術	テレパス	パートナーズ・グループ・AG	スイス	2021年4月	10億5,600万ユーロ	投資会社パートナーズ・グループは、投資会社アトランティヤより、傘下にあるモバイル決済サービスのテレパスの株式49%を取得を完了した。
スポーツ	ASローマ	フリードキン・グループ	米国	2020年8月	5億9,100万ユーロ	フリードキン・グループは、ローマのサッカーチーム・ASローマの株式の86.6%を取得を完了した。残りの13.4%については、義務的公開買い付けによって取得予定と発表した。

[出所] 各社発表から作成

表5 イタリアの主な対外直接投資案件(2020年~2021年2月)

<M&A 以外>					
業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要
エネルギー	エネルギーグリーンパワー	ブラジル	2020年12月	約11億米ドル	ブラジル子会社であるエネルギーグリーンパワー・ブラジル・パートナーシップソエス(EGPB)が、ブラジル北東部に集合型風力発電所4カ所および太陽光発電所1カ所の建設(既存発電所の拡張含む)を開始したと発表。操業開始予定は、ラス・ドス・ペントスⅢの風力発電所が2022年、その他が2021年(サオ・ゴン・カロ太陽光発電所の拡張された施設は、2021年2月から操業開始済み)。
エネルギー	エネルギーグリーンパワー	米国	2020年12月	約6億6,100万米ドル	米国子会社であるエネルギーグリーンパワー・ノース・アメリカが、2億8,100万ドル超を投じて拡張したカンザス州の風力発電所の操業を開始し、また約3億8,000万ドルを投資し建設したミズーリ州の風力発電所の操業を開始したと発表した。
エネルギー	フィメール	日本	2020年9月	非公表	太陽光発電用のパワーコンディショナーを製造するフィメールは、東京に新本社を設立したと発表した。2021年内に東京にサービスセンターを開設し運用保守トレーニングやエンジニア等に向けトレーニングを提供予定。
エネルギー	フィメール	韓国	2020年10月	非公表	フィメールは、ソウルに新本社を設立したと発表した。韓国語でのウェブサイト立ち上げを含めたデイスクリプターへの訴求とブランド構築に注力してプレゼンスを高める予定。
エネルギー	アレリオンクリーンパワー	ルーマニア	2021年2月	未公表	アレリオンクリーンパワーはルーマニアに、総発電量が約200MWとなる複数の太陽光発電プラントを設立すると発表した。そのうち、発電量が合計で約33MWとなる複数のプラントを2021年上半年までに操業開始予定。

<M&A>						
買収企業 企業名	被買収企業(事業) 業種	被買収企業(事業) 企業名	国籍	時期	投資額	概要
デダス・グループ	ヘルスケアIT	アグファ・ゲバルトグループ	ベルギー	2020年5月	9億7,500万ユーロ	ヘルスケアソフトウェアを提供するデダス・グループは、ITソリューションのアグファ・ゲバルトグループのヘルスケアIT事業の一部の買収を完了したと発表した。
アンジェリーニ・ファーマ	バイオ医薬品	アーベル・セラピューティクス	スイス	2021年2月	6億1,000万米ドル	製薬会社アンジェリーニ・ファーマは、中枢神経系の疾患の治療に取り組むバイオ医薬品メーカーのアーベル・セラピューティクスの買収について最終合意したと発表。
EFソーラー・イタリア	エネルギー	レノバルリア・エナジー・グループ	スペイン	2020年4月	非公表	イタリア最大の独立系インフラファンドF2i傘下の太陽光発電のEFソーラー・イタリアは、米国の投資ファンドであるサーベロス・キャピタル・マネジメントから、スペインの太陽光発電会社レノバルリア・エナジー・グループの買収を完了した。

[出所] 各社発表から作成

機を新たに導入、同空港から22の新規路線を運航すると発表した。M&A 案件では、フランスの投資会社アーディアン率いる投資家グループが2020年10月、イタリアの通信大手テレコムイタリアから、INWITの株式30.2%の取得を完了した。

2020年の対外直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）は、前年比85.3%減の43億1,600万ユーロとなり、対内直接投資と同様に大きく落ち込んだ。

2020年の主な対外投資案件をみると、前年に引き続き、エネルギー関連の案件が目立った。太陽光発電用のパワーコンディショナーを製造するフィメールは、9月に東京、10月にソウルに、相次いで新本社を設立したと発表した。エネルギーグリーンパワーは12月、ブラジル子会社が同国で集合型風力発電所4カ所および太陽光発電所1カ所の建設を開始し、また米国子会社が同国で建設および拡張した風力発電所2カ所の操業を開始したと発表した。M&A 案件でも4月、太陽光発電を行うEFソーラー・イタリアが、スペインの同業であるレノバリア・エナジー・グループの買収を完了した。

## ■対日貿易ではたばこや電気・電子機器の輸出が拡大

2020年の対日貿易は、輸出が前年比7.6%減の71億2,500万ユーロ、輸入が11.4%減の36億4,500万ユーロとなった。貿易収支は34億8,000万ユーロの黒字で、9年連続の黒字になっている。

輸出を品目別にみると、最大の金額を占める食品・飲料・たばこ（構成比27.9%）が8.4%増と伸長、全体として前年比減の品目が目立つ中で増加を記録した。同品目の中で最大の輸出額を占めるたばこ（16.9%）は21.8%増で、引き続き日本が最大の輸出先になっている。その他、コンピューター・電子・光学機器（4.2%）が41.5%増と大幅に伸び、中でも、その他通信用電気・電子機器（2.5%）が約8倍になったことが寄与した。一方、その他旅行用品（6.2%）の13.0%減などが響き、繊維・衣料品・皮革製品（21.6%）は19.4%減と減少。自動車（9.9%）が7.6%減となり、輸送機器全体（15.0%）は11.7%減と縮小した。

輸入では、自動車（18.2%）の12.5%減が響き、輸送機器（29.8%）が13.3%減と落ち込んだ。機械（23.3%）は26.0%減となった。その他採掘・採石・工事用機械（6.1%）が63.1%増と大きく伸長した一方、内燃機関（2.9%）が34.0%減となったことによる。大方の品目が前年比マイナスとなった中、医薬品（10.5%）は、医薬品原料（9.5%）が2.4倍に膨らんだことにより、2.3倍に伸長した。

2020年の日本からの直接投資受入額は、前年比83.0%減の8,500万ユーロだった。2020年に発表された日本企業のイタリアへの主な投資案件としては、AGCが7月、イタリアの100%子会社 AGC

表6 イタリアの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2019年	2020年			2019年	2020年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
食品・飲料・たばこ	1,836	1,991	27.9	8.4	14	13	0.3	△ 12.3
繊維・衣料品・皮革製品	1,909	1,539	21.6	△ 19.4	192	160	4.4	△ 16.7
輸送機器	1,210	1,068	15.0	△ 11.7	1,251	1,085	29.8	△ 13.3
医薬品	601	579	8.1	△ 3.5	167	381	10.5	128.6
機械	704	508	7.1	△ 27.8	1,150	851	23.3	△ 26.0
化学品	418	400	5.6	△ 4.3	407	380	10.4	△ 6.8
コンピューター・電子・光学機器	210	297	4.2	41.5	245	188	5.2	△ 23.2
その他製造業の製品	339	286	4.0	△ 15.6	184	158	4.3	△ 13.9
ゴム・プラスチック・非金属鉱物製品	142	117	1.6	△ 17.8	170	158	4.3	△ 7.4
電気機器	116	108	1.5	△ 6.8	132	101	2.8	△ 23.4
金属製品	110	104	1.5	△ 5.4	157	142	3.9	△ 9.1
燃料・石油精製品	2	38	0.5	1442.9	10	1	0.0	△ 94.0
農林水産物	33	34	0.5	2.9	6	4	0.1	△ 36.3
木材・木工品・紙製品・印刷物	46	27	0.4	△ 41.3	19	15	0.4	△ 24.0
鉱物・石油・天然ガス	3	2	0.0	△ 25.9	1	1	0.0	30.4
合計（その他含む）	7,711	7,125	100	△ 7.6	4,113	3,645	100	△ 11.4

(出所) イタリア国家統計局 (ISTAT)

バイオリジクスを通じて進めていた、バイオ医薬品モレキュラー・メディシンの買収を完了したことを発表。遺伝子・細胞治療薬の分野における協働を進める。また、フロイント産業は11月、製剤機械装置メーカーのコスメックの完全子会社化を発表した。互いの製品ラインおよび販売網を効果的に組み合わせ、競争力の向上を目指す。そのほか、津田駒工業は3月、ミラノに子会社を設立することを明らかにした。欧州における新たな販売・サービス拠点と位置付け、同社にとって重要な市場である欧州の新規顧客の開拓などを進める。

2020年のイタリアの対日直接投資額は、前年比82.3%減の8,200万ユーロとなった。2020年に発表されたイタリア企業による主な対日投資案件としては、太陽光発電用のパワーコンディショナーを製造するフィメールが9月、東京に新本社を設立したと発表した。太陽光発電分野において成長が見込まれる日本市場でのビジネス拡大を目指す。

### 主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：6,024万人（2020年）			
②面積：30万2,068km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：3万1,288米ドル （2020年、推計値）			
④実質GDP成長率（%）	0.9	0.3	△8.9
⑤消費者物価上昇率（%）	1.2	0.6	△0.2
⑥失業率（%）	10.6	10.0	9.2
⑦貿易収支（100万ユーロ）	45,926	60,222	67,612
⑧経常収支（100万ユーロ）	44,487	57,413	58,585
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	51,331	55,341	61,614
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	2,133,635	2,232,020	2,324,320
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均）	0.8468	0.8933	0.8755

〔注〕 ⑦⑧：国際収支ベース、⑦：財のみ  
 〔出所〕 ①②④⑤⑥：イタリア国家統計局（ISTAT）、③⑨⑪：IMF、⑦⑧⑩：イタリア銀行（中央銀行）

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp